

## 概ね5年間で実施する取組

R2.5月末時点

資料-2

項目	事項	内容	課題の対応	実施する機関					
				大隅河川国道 時期 気象台 時期 鹿児島県 時期 鹿屋市 時期 肝付町 時期 東串良町 時期					
<b>1)ハード対策の主な取組</b>									
■洪水を安全に流すためのハード対策									
流下能力対策(河道掘削等)	S	姶良川の河道掘削 <b>高山川・串良川の河道掘削</b>	引き続き実施	甫木川、塩入川の築堤及び河道掘削等	引き続き実施				
浸透対策(シラス堤防の質的強化)	T	肝属川、串良川、高山川の堤防質的強化(川裏側)	引き続き実施						
■危機管理型ハード対策									
堤防川裏法尻の補強	S	串良川、高山川の川裏法尻補強	H28年度から実施						
■避難、水防、緊急排水等復旧に資する基盤等の整備									
地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討・設置	F	川の警告灯の検討・設置	引き続き実施						
急激な水位上昇を把握するため、上流部に設置する水位計の検討・設置	F	上流部に設置する水位計の検討・設置	H29年度から実施						
きめ細やかな河川情報を提供するためリスクの高い箇所への河川カメラもしくは簡易水位計等の検討・設置	L	危機管理型水位計:H30完 簡易カメラ:R1完了	引き続き実施		危機管理型水位計:R1完了	引き続き実施			簡易水位計の設置(塩入川柏原橋) H30年度完了※県実施
適切な水防活動等を目的とした、堤防拡幅の検討・整備	U	大型車両の離合等水防活動をスムーズに行えるよう堤防天端の拡幅について検討・整備	引き続き実施						
緊急時に早急かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画に基づく金場の検討・設置	R	迅速にポンプ設置を可能とするためポンプ窯場の設置を検討・設置	H28年度から実施						
■施設の確実な機能確保									
洪水時に適切な施設運用が出来るよう、河川管理施設の定期的な状態監視及び老朽化対策の実施	V	監視結果による老朽箇所の対策を実施し河川管理施設の機能維持を図る	引き続き実施						
庁舎等の防災拠点施設の機能確保を図るために耐水化等の検討	Q	非常用電源等耐水化の必要性を検討	H29年度から実施		串良総合支所における 庁舎の浸水対策検討	H29年度から実施	肝付町役場における庁舎の浸水対策検討	H29年度から実施	

項目	事項	内容	課題の対応	実施する機関																																																											
				大隅河川国道	時期	気象台	時期	鹿児島県	時期	鹿屋市	時期	肝付町	時期	東串良町	時期																																																
2)ソフト対策の主な取り組み ①地域住民が的確に避難行動を行えるように、迅速かつ的確でわかりやすい情報発信に関する取組																																																															
■防災情報の確実な伝達																																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">避難情報等を確実に届けるため戸別端末による防災行政無線の普及</td> <td style="width: 15%; text-align: center;"><b>A</b></td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>避難情報等を確実に届けるためコミュニティFMを活用したラジオ放送及びブッシュ型スマートフォン用アプリの整備、普及</td> <td style="text-align: center;"><b>A</b></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>スマートフォンアプリの普及 FMかのや放送を活用</td> <td style="text-align: center;">引き続き実施</td> <td>アナログ無線からデジタル無線への更新(H30年度完了)</td> <td style="text-align: center;">H28年度から実施</td> <td>未設置者への防災行政無線の普及(80%)</td> <td style="text-align: center;">引き続き実施</td> </tr> </table>																避難情報等を確実に届けるため戸別端末による防災行政無線の普及	<b>A</b>															避難情報等を確実に届けるためコミュニティFMを活用したラジオ放送及びブッシュ型スマートフォン用アプリの整備、普及	<b>A</b>									スマートフォンアプリの普及 FMかのや放送を活用	引き続き実施	アナログ無線からデジタル無線への更新(H30年度完了)	H28年度から実施	未設置者への防災行政無線の普及(80%)	引き続き実施																
避難情報等を確実に届けるため戸別端末による防災行政無線の普及	<b>A</b>																																																														
避難情報等を確実に届けるためコミュニティFMを活用したラジオ放送及びブッシュ型スマートフォン用アプリの整備、普及	<b>A</b>									スマートフォンアプリの普及 FMかのや放送を活用	引き続き実施	アナログ無線からデジタル無線への更新(H30年度完了)	H28年度から実施	未設置者への防災行政無線の普及(80%)	引き続き実施																																																
■適切なタイミングでの情報発信																																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">確実な避難を促すため、避難勧告の発令に着目したタイムラインの検証・見直し</td> <td style="width: 15%; text-align: center;"><b>D</b></td> <td style="width: 15%;">タイムラインの検証・見直し</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">H28年度から実施</td> <td style="width: 15%;">タイムラインを支援する情報の提供 時系列で危険度を色分け表示、警報級の可能性の提供(H29.5.17～) 大雨警報(浸水警報)・洪水警報の危険度分布の提供(H29.7.4～) <b>危険度分布にリスク情報を重ね合わせて表示(R01.12.24～)</b></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">H29年度から実施</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>タイムラインの検証・見直し</td> <td style="text-align: center;">H28年度から実施</td> <td>タイムラインの検証・見直し(引き続き実施)</td> <td style="text-align: center;">H28年度から実施</td> <td>タイムラインの検証・見直し</td> <td style="text-align: center;">H28年度から実施</td> <td>タイムラインの検証・見直し</td> <td style="text-align: center;">H28年度から実施</td> <td>タイムラインの検証・見直し</td> <td style="text-align: center;">引き続き実施</td> </tr> </table>																確実な避難を促すため、避難勧告の発令に着目したタイムラインの検証・見直し	<b>D</b>	タイムラインの検証・見直し	H28年度から実施	タイムラインを支援する情報の提供 時系列で危険度を色分け表示、警報級の可能性の提供(H29.5.17～) 大雨警報(浸水警報)・洪水警報の危険度分布の提供(H29.7.4～) <b>危険度分布にリスク情報を重ね合わせて表示(R01.12.24～)</b>	H29年度から実施																	タイムラインの検証・見直し	H28年度から実施	タイムラインの検証・見直し(引き続き実施)	H28年度から実施	タイムラインの検証・見直し	H28年度から実施	タイムラインの検証・見直し	H28年度から実施	タイムラインの検証・見直し	引き続き実施																
確実な避難を促すため、避難勧告の発令に着目したタイムラインの検証・見直し	<b>D</b>	タイムラインの検証・見直し	H28年度から実施	タイムラインを支援する情報の提供 時系列で危険度を色分け表示、警報級の可能性の提供(H29.5.17～) 大雨警報(浸水警報)・洪水警報の危険度分布の提供(H29.7.4～) <b>危険度分布にリスク情報を重ね合わせて表示(R01.12.24～)</b>	H29年度から実施																																																										
						タイムラインの検証・見直し	H28年度から実施	タイムラインの検証・見直し(引き続き実施)	H28年度から実施	タイムラインの検証・見直し	H28年度から実施	タイムラインの検証・見直し	H28年度から実施	タイムラインの検証・見直し	引き続き実施																																																
■視覚的にわかりやすい情報発信																																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">洪水の緊迫感を伝えるため、民放放送局と河川カメラのライブ映像提供協定の締結</td> <td style="width: 15%; text-align: center;"><b>E</b></td> <td style="width: 15%;">河川カメラのライブ映像提供</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">H28年度から実施</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>簡易水位計や河川カメラによるきめ細やかな河川情報の提供</td> <td style="text-align: center;"><b>F</b></td> <td>簡易水位計や河川カメラの設置</td> <td style="text-align: center;">引き続き実施</td> <td></td> <td></td> <td>鹿児島県河川砂防情報システムによる情報提供</td> <td style="text-align: center;">引き続き実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>鹿児島県河川砂防情報システムによる情報提供</td> <td style="text-align: center;">引き続き実施</td> </tr> <tr> <td>地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討</td> <td style="text-align: center;"><b>F</b></td> <td>川の警告灯の検討・設置</td> <td style="text-align: center;">引き続き実施</td> <td></td> </tr> </table>																洪水の緊迫感を伝えるため、民放放送局と河川カメラのライブ映像提供協定の締結	<b>E</b>	河川カメラのライブ映像提供	H28年度から実施													簡易水位計や河川カメラによるきめ細やかな河川情報の提供	<b>F</b>	簡易水位計や河川カメラの設置	引き続き実施			鹿児島県河川砂防情報システムによる情報提供	引き続き実施							鹿児島県河川砂防情報システムによる情報提供	引き続き実施	地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討	<b>F</b>	川の警告灯の検討・設置	引き続き実施												
洪水の緊迫感を伝えるため、民放放送局と河川カメラのライブ映像提供協定の締結	<b>E</b>	河川カメラのライブ映像提供	H28年度から実施																																																												
簡易水位計や河川カメラによるきめ細やかな河川情報の提供	<b>F</b>	簡易水位計や河川カメラの設置	引き続き実施			鹿児島県河川砂防情報システムによる情報提供	引き続き実施							鹿児島県河川砂防情報システムによる情報提供	引き続き実施																																																
地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討	<b>F</b>	川の警告灯の検討・設置	引き続き実施																																																												
■浸水区域等のリスク情報の周知																																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">地域住民の確実な避難を行うために想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域及び浸水シミュレーションの検討・公表</td> <td style="width: 15%; text-align: center;"><b>I</b></td> <td style="width: 15%;">想定される最大規模の降雨を対象とした浸水想定区域図及び浸水シミュレーションの検討・公表</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">H28年度に実施</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>地域住民の確実な避難を行うために、想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知</td> <td style="text-align: center;"><b>I</b></td> <td>想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成支援</td> <td style="text-align: center;">H29年度から実施</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R1年度防災マップ更新時にL2を反映</td> <td style="text-align: center;">R1年度実施</td> <td>想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知(引き続き実施)</td> <td style="text-align: center;">作成完</td> <td>想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知</td> <td style="text-align: center;">作成完</td> </tr> </table>																地域住民の確実な避難を行うために想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域及び浸水シミュレーションの検討・公表	<b>I</b>	想定される最大規模の降雨を対象とした浸水想定区域図及び浸水シミュレーションの検討・公表	H28年度に実施													地域住民の確実な避難を行うために、想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知	<b>I</b>	想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成支援	H29年度から実施						R1年度防災マップ更新時にL2を反映	R1年度実施	想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知(引き続き実施)	作成完	想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知	作成完																	
地域住民の確実な避難を行うために想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域及び浸水シミュレーションの検討・公表	<b>I</b>	想定される最大規模の降雨を対象とした浸水想定区域図及び浸水シミュレーションの検討・公表	H28年度に実施																																																												
地域住民の確実な避難を行うために、想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知	<b>I</b>	想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成支援	H29年度から実施						R1年度防災マップ更新時にL2を反映	R1年度実施	想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知(引き続き実施)	作成完	想定される最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知	作成完																																																	

	地域住民が安全に避難するために、浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討	<b>G H</b>	浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討支援	H29年度から実施					浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討(引き続き実施)	R1年度実施	浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討(引き続き実施)	H31年度から実施	浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討	引き続き実施

項目	事項	内容	課題の対応	実施する機関											
				大隅河川国道	時期	気象台	時期	鹿児島県	時期	鹿屋市	時期	肝付町	時期	東串良町	時期
<b>2)ソフト対策の主な取り組み ②地域住民の水防災に関する危機意識を再構築するための、水防災学習・教育や自主防災組織支援等に関する取組</b>															
<b>■水防災を意識する社会の醸成のための支援</b>															
河川協力団体と連携した住民目線での啓発活動の実施			<b>A B D K</b>	出前講座や河川協力団体と連携した水防災意識再構築のための啓発活動の実施 河川協力団体と連携した防災意識調査・分析	引き続き実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引き続き実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引き続き実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引き続き実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施(引き続き実施)	引き続き実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引き続き実施
教育機関等と連携した水防災学習・教育の実施			<b>A B D K</b>	教育関係機関と連携した水防災教育・学習の実施 防災教育教材の充実	H29年度から実施	教育関係機関と連携した水防災教育・学習の支援	H29年度から実施	教育関係機関と連携した水防災教育・学習の支援(H30.11.29 県教育委員会を通じて市町教育委員会へ指導計画(例)等を情報提供)	H29年度から実施	R1年度も、H30年度に引き続き寿小学校で防災DAYキャンプを実施。	H29年度から実施	教育関係機関と連携した水防災教育・学習の支援(引き続き実施)	H29年度から実施	教育関係機関と連携した水防災教育・学習の支援(H30 津波シンポジウム)	引き続き実施
地域住民が安全に避難出来るよう、マイハザードマップ検討・作成の支援			<b>G H</b>	マイハザードマップ検討・作成支援	引き続き実施					マイハザードマップの検討・作成 ・作成促進のため助成金制度を導入	引き続き実施			マイハザードマップの検討・作成 ・H30防災マップを配布(町全域対象)	平成30年度3月策定済み
地域住民が安全に避難出来るよう、地区防災計画の推進・支援			<b>G H</b>	地区防災計画の推進・支援	引き続き実施							地区防災計画の推進(引き続き実施)	引き続き実施		
水防災をテーマとしたパネル展示等の啓発活動の実施			<b>K</b>	防災をテーマにしたパネルの作成及び展示	引き続き実施	防災をテーマにしたパネルの展示	引き続き実施	防災をテーマにしたパネルの展示	引き続き実施	防災をテーマにしたパネルの展示(高隈交流促進センターには常設)	引き続き実施	防災をテーマにしたパネルの展示(引き続き実施)	引き続き実施	防災をテーマにしたパネルの展示 H30柏原防災センター	引き続き実施
浸水実績をわかりやすく周知するために過去の洪水による浸水深を地域に表示する「まるごとまちごとハザードマップ」の実施・支援			<b>K</b>	「まるごとまちごとハザードマップ」作成に向けた支援	H29年度から実施					「まるごとまちごとハザードマップ」の検討・作成	H29年度から実施	「まるごとまちごとハザードマップ」の検討・作成(引き続き実施)	H29年度から実施	「まるごとまちごとハザードマップ」の検討・作成	H29年度から実施
<b>■自主防災組織等への支援</b>															
自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施			<b>C J</b>	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	引き続き実施					自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	引き続き実施	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	引き続き実施	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施	引き続き実施
災害時に迅速な避難が出来るよう、地域の防災リーダー育成や自主防災組織の育成・強化・支援			<b>J</b>	出前講座による防災教育の実施	引き続き実施	出前講座による防災教育や防災担当者に対する研修の実施	引き続き実施	出前講座による防災教育や防災担当者に対する研修の実施	引き続き実施	地域の防災リーダー育成のために研修等への参加未組織の地区について自主防災組織の推進	引き続き実施	地域の防災リーダー育成のために研修等への参加未組織の地区について自主防災組織の推進	引き続き実施	地域の防災リーダー育成のために研修等への参加	引き続き実施

項目	事項	内容	課題の対応	実施する機関														
				大隅河川国道	時期	気象台	時期	鹿児島県	時期	鹿屋市	時期	肝付町	時期	東串良町	時期			
②)ソフト対策の主な取り組み ③)地域住民が安心して暮らせるよう、ハード対策や確実な水防活動が行える訓練等のソフト対策に関する取組																		
■関係機関及び地域住民と実施する訓練等																		
	C	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施		H28年度から実施	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施		H28年度から実施	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施		防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施		H28年度から実施	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施(引き続き実施)	H28年度から実施	防災担当者を一堂に会した防災訓練や講習会の実施 H30 柏原地区(津波訓練) R1 豊栄地区	H28年度から実施		
	N	水防団(消防団)員の技術伝承のための、防災訓練の実施	引き続き実施							水防団(消防団)員の技術伝承のための、防災訓練の実施	引き続き実施		水防団(消防団)員の技術伝承のための、防災訓練の実施(引き続き実施)	引き続き実施	水防団(消防団)員の技術伝承のための、防災訓練の実施	引き続き実施		
	O	自主防災組織等と連携した要配慮者等の避難訓練への支援	引き続き実施							自主防災組織等と連携した要配慮者等の避難訓練の実施	引き続き実施		自主防災組織等と連携した要配慮者等の避難訓練の実施(引き続き実施)	引き続き実施	自主防災組織等と連携した要配慮者等の避難訓練の実施	引き続き実施		
	Q	浸水想定区域内にある病院や地元企業に対して、被害が最小となるための自主防災力向上のための支援	H29年度から実施							浸水想定区域内にある病院等の要配慮者利用施設の避難確保計画の作成を支援	H29年度から実施	浸水想定区域内にある病院や地元企業と連携した訓練の実施(引き続き実施)	H29年度から実施	浸水想定区域内にある病院や地元企業と連携した訓練の実施	H29年度から実施			
■確実な水防活動への支援																		
	N	適切な水防団(消防団)人員の確保								市広報誌を活用した水防団(消防団)人員の募集	引き続き実施	町報を活用した水防団(消防団)人員の募集(引き続き実施)	H29年度から実施	町報を活用した水防団(消防団)人員の募集	引き続き実施			
	N	水防協力協定等企業(地元建設業等)と連携した水防活動の実施								水防協力協定の実施・総合防災訓練(隔年実施)	引き続き実施	水防協力協定の実施(引き続き実施)	引き続き実施	水防協力協定の実施	引き続き実施			
	P	合同巡視等で必要な水防資機材の確認、補充及び関係機関間の情報共有	引き続き実施					合同巡視等で必要な水防資機材の確認、補充及び関係機関間の情報共有	引き続き実施	合同巡視等で必要な水防資機材の確認、補充及び関係機関間の情報共有(引き続き実施)	引き続き実施	合同巡視等で必要な水防資機材の確認、補充及び関係機関間の情報共有	引き続き実施	合同巡視等で必要な水防資機材の確認、補充及び関係機関間の情報共有	引き続き実施			
	M	堤防の変状等河川巡視結果をリアルタイムで共有するためのシステム検討	引き続き実施							相互接続した専用光ケーブルを利用し、大隅河川国道と鹿屋市でリアルタイムの情報共有	引き続き実施	相互接続した専用光ケーブルを利用し、大隅河川国道と肝付町でリアルタイムの情報共有(引き続き実施)	引き続き実施	相互接続した専用光ケーブルを利用し、大隅河川国道と東串良町でリアルタイムの情報共有	引き続き実施			
	P	大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討(既存施設含む)	H29年度から実施							大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討	H29年度から実施	大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討(引き続き実施)	H29年度から実施	大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討	H29年度から実施			
■大規模災害時における排水施設の適切な運用																		
	R	緊急時に早急かつ的確な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の検討		H28年度から実施						大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の検討	H28年度から実施	大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の検討(引き続き実施)	H28年度から実施	大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の検討	H28年度から実施			

## 施策の年次計画(案)

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
<b>◆ソフト対策 STEP1 危険な場所を知る</b>				
⑦地域住民の確実な避難を行うために想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域及び浸水シミュレーションの検討・公表	⑧地域住民の確実な避難を行うために、想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水ハザードマップの作成・周知			
<b>◆ソフト対策 STEP2 危険な時を知る</b>				
	各観測所における水位設定（適宜見直し）			
<b>◆ソフト対策 STEP3-1 その情報を伝える（平時）</b>				
⑩河川協力団体と連携した住民目標での啓発活動の実施				
⑪教育機関等と連携した水防災学習・教育の実施				
⑫水防災をテーマとしたパネル展示等の啓発活動の実施				
<b>◆ソフト対策 STEP3-2 その情報を伝える（発災時）</b>				
①避難情報等を確実に届けるため戸別端末による防災行政無線の普及				
②避難情報等を確実に届けるためコミュニティFMを活用したラジオ放送及びブッシュ型スマートフォン用アプリの整備、普及				
③洪水の緊迫感を伝えるため、民放放送局と河川カメラのライブ映像提供協定の締結				
⑤急激な水位上昇を把握するため、上流部に設置する水位計の検討・設置				
⑥きめ細やかな河川情報を提供するためリスクの高い箇所への河川カメラもしくは簡易水位計等の検討・設置				
⑦簡易水位計や河川カメラによるきめ細やかな河川情報の提供				
⑧地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討・設置	⑨地域住民の迅速な避難の目安となる川の警告灯の検討・設置			
⑩堤防の変状等河川巡視結果をリアルタイムで共有するためのシステム検討				
<b>◆ソフト対策 STEP4-1 情報を入手した者がどう行動すべきかを知る・検討する</b>				
⑪確実な避難を促すため、避難勧告の発令に着目したタイムラインの検証・見直し				
⑫地域住民が安全に避難するために、浸水範囲内にある避難所及び避難経路の見直し検討				
⑬地域住民が安全に避難出来るよう、マイハザードマップ検討・作成の支援				
⑭地域住民が安全に避難出来るよう、地区防災計画の推進・支援				
⑮浸水実績をわかりやすく周知するために過去の洪水による浸水深を地域に表示する「まるごとまちごとハザードマップ」の実施・支援				
<b>◆ソフト対策 STEP4-2 要配慮者施設等への対応</b>				
⑯災害時に迅速な避難誘導が出来るよう、関係機関と自主防災組織等が連携した要配慮者等の避難訓練の実施				
⑰浸水想定区域内にある病院や地元企業に対して、被害が軽くなるための自主防災力向上のための支援				
<b>◆ソフト対策 STEP5 関係者全員が認知・熟知する</b>				
⑱自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー育成のための講習会等の実施				
⑲災害時に迅速な避難が出来るよう、地域の防災リーダー育成や自主防災組織の育成・強化・支援				
⑳防災担当職員の防災技術力向上と流域内の関係機関の連携強化を目的とした防災訓練や勉強会の実施				
㉑水防技術伝承のための水防団（消防団）員の防災訓練等の実施				
㉒適切な水防団（消防団）人員の確保				
㉓水防協力協定等企業（地元建設業等）と連携した水防活動の実施				
㉔適切な水防活動を行うための、保有水防資機材の定期的な点検確認と情報共有				
㉕大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠点となる施設の検討				
㉖適切な水防活動等を目的とした、堤防拡幅の検討・整備				
㉗緊急時に早急かつ的確な対応を行なうため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の検討	㉘緊急時に早急かつ的確な対応を行なうため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画に基づく整備の検討・設置			
<b>◆ハード対策（施設整備等）</b>				
㉙流下能力対策（河道掘削等）				
㉚浸透対策（シラス堤防の質的強化）				
㉛堤防川裏法尻の補強				
㉜洪水時に適切な施設運用ができるよう、河川管理施設の定期的な状態監視及び老朽化対策の実施				
㉝庁舎等の防災拠点施設の機能確保を図るために耐水化等の検討				

ハード対策

ソフト対策（1：情報発信）

ソフト対策（2：水防災学習等）

ソフト対策（3：訓練等）

→ 施策間の関連性を示す